

【学校だより】



はまなつめ 第5号

令和7年6月5日(木)

長崎市立川原小学校

校長 神田 学

『一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 ～ 子どもも教師も輝く学校 ～』

平和教育（家族・交流証言講話）について

川原小学校においては、「長崎っ子を見つめる教育週間」を6月28日(土)～7月4日(金)として計画しています。教育週間中には、29日(日)の「150周年記念式典」や4日(金)の授業参観・懇談会を予定しています。

例年、期間中に「平和教育」「命に関する講話」として、被爆体験講話や家族・交流証言講話を実施しています。本年度は、7月2日(水)に計画していたのですが、代休日となった関係で、以下の日程で実施いたします。

講話をしていただけるのは、故永井隆博士のお孫さん、永井隆記念館 永井徳三郎 館長です。本校職員の尽力により今回の講話が実現いたしました。貴重なお話をお聞きできるものと思っております。保護者の皆様のご参加も可能としますので、是非ご来校ください。

実施日時:7月10日(水)11:00～11:45

講話の内容:爆心地から約700mの長崎医科大学研究室で被爆した祖父、永井隆さん(1951年ご逝去)と、当時10歳だった父、永井誠一さんの被爆体験を話していただきます。祖父は被爆当時37歳。自身も大けがを負いながら、三山町木場に救護所を開設し原爆傷病者の救護にあたられました。祖父の妻・緑さんは原爆により自宅の台所で亡くなりました。

※ 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 被爆体験記朗読ボランティア「被爆体験を語り 継ぐ 永遠の会」の皆様、今年度も5・6年生が朗読指導をしていただくことになりましたのでお知らせします。指導していただいた成果を、8月9日(土)の「平和を祈る会」において発表する予定にしています。

国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館とは、原子爆弾の投下により亡くなられたすべての方々への追悼と平和祈念を行う場所です。

交流デーについて

6月2日(月)は交流デーを実施しました。

下の写真は1校時の「音楽」、3校時の「話し合い活動」のようすです。

今後も、交流デーの日には、少人数ではない活動を経験できる取組を実施していく予定にしています。



ど根性ひまわり

東日本大震災の際に、瓦礫の中で、津波にも塩害にも負けずにたくましく花をさかせたひまわり「ど根性ひまわり」を今年も全校で育てます。

6月4日(水)には全校でひまわりの苗を植えました。今年で4年目になります。

今では全国各地、海外でも育てられている「ど根性ひまわり」ですが、子どもたちには、「命が大事に受け継がれていること」を学んでほしいと思っています。

